

九重の高原から

TAKE FREE

九重ふるさと自然学校通信

Vol. 40

2018. 春号

さとぼる時間

九重のさとぼる【里の草原】で育まれてきた自然や文化、そしてそこに流れるようなのんびりとした時の流れを感じてほしいという願いを込めて、「さとぼる時間」と名付けました。



休日は
自然にかえろう
楽しんで
「ロト、ギョ、くザク！」

・保存版！
体験プログラム（自然・里山）
2018お品書き

- ・くじゅうびと「茅のある暮らし」
- ・鳥人。あべべのとりこばなし
- ・STAFFあとかぎ



一般財団法人
セブン-イレブン記念財団

九重ふるさと自然学校

体験プログラム（自然・里山）2018お品書き

プログラムの詳細はホームページをご覧ください。定員になり次第、キャンセル待ちとなります。

家族で楽しむ

自然で遊ぼう！おやとこ

自然は子どもたちの知的好奇心をくすぐるものでいっぱい！
おやとこは幼児と小学生を対象に、親子・家族で楽しむプログラム

田んぼの巻

5月20日(日)10:00～15:00

「春うらら。親子でのびのび田植えの会」

田んぼの泥の感触は？どんな生きものに会えるかな？
泥んこになりながら、1束ずつ苗を手植えます

9月24日(月・祝)10:00～15:00

「実りの秋。稲刈りと掛け干しの会」

たわわに実った稲穂を手で刈ろう！
竹竿にかけて、お米よもつとおいしくな～れ♪

10月27日(土)9:00～14:30

「新米をたべよう！収穫祭！」

羽釜で炊いた新米でおにぎりを握ろう！
昔ながらの脱穀・精米方法にも挑戦

12月1日(土)10:00～15:00

「おやとこ田んぼの稲わらで しめ飾りづくり」

新米をとった稲わらと野外にある自然素材で、
マイ正月飾りづくり。お餅つきもするよ

○田植え、稲刈り、しめ飾りづくり
各回 大人1,000円
子ども(幼児・小学生)500円

○収穫祭
※田植えもしくは稲刈り参加者のみ
大人1,500円
子ども(幼児・小学生)1,000円



当校の「自然共生型田んぼづくり」
は「国連生物多様性の10年日本
委員会 (UNDB-J)」が推奨する
事業として認定を受けています。



*定員各20名
*兄妹で参加の場合は、乳児は無料、中学生の場合は子ども料金

野山あるきの巻

5月4日(金・祝)10:00～15:00

「春の草原ハイキング」

草花や山菜、生きものを観察しながら、のんびりと九
重の春を満喫♪

大人500円、子ども(幼児・小学生)300円

火の巻

11月3日(土・祝)10:00～15:00

「焼き芋づくりと落ち葉であそぼう！」

薪で火おこし、落ち葉の中で焼き芋をつくるよ。
落ち葉のヒミツも一緒に探ろう！

大人800円、子ども(幼児・小学生)300円



ボランティアプログラム

さとばるの森林づくり

生きものといっしょ！チョウをシンボルに、楽し
む雑木林づくり。親子も楽しめる内容です！

対象：一般参加OK!

参加費：無料 定員：各15名

7月15日(日)10:00～15:30

「チョウがすみやすい 環境をつくろう」

(苗木まわりの下草刈り、チョウの採集と記録)
*昼食付き「流しそうめん」

8月19日(日)10:00～15:30

「チョウと植物のカンケイ」

(チョウの暮らしを知ろう～幼虫のたべもの～
チョウの採集と記録、外来植物の引き抜き)

10月7日(日)10:00～15:30

「野ネズミと森のつながり」

(どんぐり拾いとクラフト、野ネズミの観察
チョウの採集と記録)

11月17日(土)10:00～15:30

「おいしく学ぶ!里山の森のコト」

(植樹、花炭づくり)
*昼食付き「山の幸汁、羽釜ごはん」

ボランティア募集中!

活動内容は、野焼きや田んぼ
&森林づくり、生きもの調査、
木道などの環境整備、体験プ
ログラムの補助などいろいろ!
興味のある活動に合わせて参
加できます。
幅広い年齢層の方が活動中!

※参加にはボランティア登録
が必要です。当校で保険加入
します。

生きもの好きアツマレ!

田んぼの生きものしらべ



春・夏・秋と季節を追いながら、田んぼやビオトープで生きものを探してみませんか?各季節で代表的な生きものに注目し、クイズなどを交えて楽しく学びます。

☆全3回制覇した方に「田んぼの生きもの博士認定状&バッジ」プレゼント!

5月12日(土) 13:30~16:30

【春】カエルの卵に注目!

8月18日(土) 13:30~16:30

【夏】ミズカマキリの
不思議に迫る

10月13日(土) 13:30~16:30

【秋】バッタのくらし



川の生きものしらべ

7月21日(土) 13:30~17:00

筑紫平野・有明海を潤す九重町の清流で
魚や水生生物を探しましょう。
ライフジャケットを着用しての川遊びも
お楽しみに。



バードウォッチング

バードウォッチングをすると、意外に身近な場所に野鳥たちが暮らしていることに気が付きます。双眼鏡を片手に、愛らしい隣人たちに会いに行きませんか?初心者の方でも大丈夫です。

7月7日(土) 早朝5:00~8:00

【夏】タデ原湿原で早朝の
鳥のコーラスを聞こう!

12月8日(土) 9:30~12:00

【冬】川と里の鳥を楽しむ
よくばり観察



*定員各20名、バードウォッチングは各10名
*各回大人500円、子ども(小・中学生)300円

ボランティアdayキャンプ

手植え&手刈りによる
オトナだけの田んぼ作業!
お昼は野外炊飯でワイルドに

5月19日(土) 10:00~17:00

「大人の田植え祭り」

9月22日(日) 10:00~17:00

「大人の稲刈り祭り」

ボランティアワークキャンプ ☆1泊2日

11月23日(金・祝) 13:30~24日(土) 14:00
「炭焼き&野焼きの防火帯づくり&交流会」

昼は労働で心地よい汗を、夜は温泉と語らいの時間を!

対象:大学生、社会人 定員:各14名 参加費:無料



くじゅうの山あるき

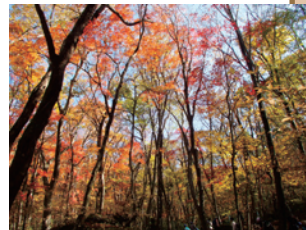
★温泉入浴
付き!

九重のんびりハイク。 錦秋の九州自然歩道と温泉探訪

10月28日(日) 9:00~16:30

ススキが輝くタデ原湿原と
紅葉に染まる森めぐり。
下山後は、九重の歴史ある
温泉で自然の恵みを体感。

*定員20名
大人1,500円
子ども(小・中学生)
1,000円



さとばるで遊ぼう!
今年も開園します。

九重自然教室「さとばる」は、当校のホームフィールド!阿蘇くじゅう国立公園内にあり、美しい草原や湿地、雑木林に湧き水などなど~バラエティに富んだ自然と生きものに間近でタッチ!

開園日:土曜・祝日

4月28日(土)~11月17日(土)の期間

下記の期間は毎日開園します。

1. 4月28日(土)~5月6日(日)

2. 8月4日(土)~12日(日)

開園時間:10:00~16:00

入園料:無料

※5月19日(土)、9月22日(土)、11月22・23日(土・日)は休園

さとばるクラフトDAY



自然の素材でおもちゃや小物づくりにチャレンジ!
手づくりアイテムとともに九重の四季を楽しみましょう。
開催日の10時から16時まで、いつでも体験OK!

「セミ笛」

5月3日(木)・5日(土)

7月7日(土)

「バードコール」

6月30日(土)

8月11日(土)・12日(日)

「ススキのフクロウ」

9月17日(月)、10月8日(月)

「フォトフレーム」

11月10日(土)

くじゅうびと

Vol.12

茅のある暮らし



ときまつ つよし
時松 剛さん

飯田高原の奥郷地区で暮らす時松さんのお宅は、九重でも珍しくなった茅葺き屋根。築150年の歴史があり、40～50年に一度という屋根の葺き替えは、これまで3回を数える。

「昔は“結い”と呼ばれる、地域住民で労働力を手間替える文化があり、集落の家の茅は皆で協力して葺き替えていた。茅場はここから約3km離れた長者原。2.5mほどの背の高い茅が採れた。飯田高原の茅は持ちがいい。それは硫黄山のおかげ。噴煙に含まれる亜硫酸ガスを浴びることで、虫が付きにくく、腐れにくい。長いことお米を作っているけど、カメムシ等の害虫が比較的少ないのもそのせいかな。」

茅葺き屋根の厚さは、なんと1m!屋根を全部葺き替えるには、1,800～2,000輪(わ)必要だという。1輪と言うのは、茅を束ねて両手で組んだくらいの量のこと。牛の背で運んでいた時、鞍に載せられる茅は6輪だったというから、なんとも気が遠くなりそうである…。

「茅が大量に必要なだから、葺き替えは半分ずつ行う。準備も3～5年前から。牛舎の2階で保管して。冬場の牛のエサも秋に茅が枯れて採集するから、そりゃすてい量よ。」里で暮らす人々にとって、茅場はかけがえのない財産だ。しかし、茅を切らなくなり、地域で葺き替える習慣もなくなった現在は、葺き替え費用は多大にかかるそうだ。

「家は多少改築したけど、昔の姿や趣きを大切に残している。」時松さんにとってこの家は、時松家の生き証人であり宝物なのだと感じた。(指原)



里山の風景に馴染んで、ひととき目を引く

野鳥だいすき！スタッフ阿部の



鳥人。あべべのとりこばなし

「冬と春の混在」

3月下旬から4月上旬のこの時期は、北帰行前の冬鳥と南方からやってきたばかりの夏鳥が同時に見られることがあります。鳥たちにとっては、ほとんど顔を合わせたことがない別種の仲間とほんの一時期だけを日本で一緒に過ごすこととなります。飯田高原の里山で顔を合わせる冬鳥と夏鳥といえば、アトリ、ツグミといった山野の小鳥とツバメでしょうか。それぞれ暮らしぶりが異なるため、お互いの存在が気になることはないかもしれませんが、この時期だけの隣人をどう思っているのか、一度聞いてみたいものです。また、1年中日本で暮らす留鳥で、ホオジロ、ウグイス、ヒバリといったおなじみの鳥たちがその美声を披露するようになるのもこの時期です。冬鳥たちは彼らのこの声(繁殖のための声)をどのような心持ちで聞いているのでしょうか。

冬から春への移り変わりの季節は、冬鳥と夏鳥が同時に見られ、美しいさえずりも聞こえるようになり、なおかつ青葉が茂る前で視界も良好! 私がとても好きなバードウォッチングシーズンです。渡り途中の意外な鳥との出会いもあるかもしれません。皆さんの身の回りでも、変化に目を向けると面白いと思いますよ。



アトリ



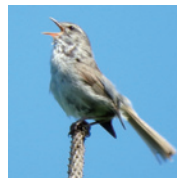
ツバメ

STAFF あとがき

冬眠から目覚めたツキノワグマは苦味のあるアザミの葉っぱを好んで食べると聞きました。冬にため込んだ老廃物を出すデトックス効果が山菜にはあるとか。美味しくてヘルシーな山菜、今年も存分に楽しみたいと思います。(川野) ※写真はワラビ



3月18日現在、ホオジロやウグイス(写真)はさえずっていますが、夏鳥はまだ確認できていません。今年の夏鳥第1号もツバメでしょうか? 再会はいつでしょうか? 楽しみです。(阿部)



寒さが和らぎ、春の気配が漂い出すと現れるピロウドツリアブ。大きな目に黄色のモコモコした体毛。アブの名からは想像できない愛らしさで飛び回ります。春の到来を告げる昆虫界のマスコットに思わず笑顔になってしまいます。(朝倉)



お問合せ 九重ふるさと自然学校

(運営: 一般財団法人セブン - イレブン記念財団)

〒879-4911

大分県玖珠郡九重町大字田野1624-34 (事務所)

TEL 0973-73-0001 FAX 0973-79-3434

✉ kujyu-sizengakkou@7midori.org

ホームページ <http://www.7midori.org/kokonoe>

facebook でも 情報発信中!



さとぼる MAP



事務所 MAP